

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

21

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	妊婦健康教育・保健指導・相談事業					
予算科目	4	款	1	項	5	目
予算事業名	母子衛生費					
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる					
担当課	健康福祉課		担当課長		國寄 和幸	
事業担当者	上安 由里恵		一次評価者		持松 可奈子	
事業の性格	法定事務					
法令根拠等	母子保健法					
事業の対象	妊婦とその家族					
事業の目的	妊婦やその家族が安心・安全なお産が迎えられるよう、経済面・身体面・精神面で支援を行う。また早産・低出生体重児の予防や食生活の改善、妊婦の友達づくりの場の提供を目的として、健康教育事業を行っている。					
実施期間	開始年度	昭和 50 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	福岡県医師会、助産師会、大分県医師会、佐賀県医師会と委託契約し、14回分の妊婦健康診査費を公費で負担している。母子健康手帳発行時に全員、さらに健診結果によって訪問・電話で様子伺いや保健指導を行っている。また年2回プレママ教室を実施している。妊娠中の体調管理、食事管理についての講話やグループ学習、調理実習を行い、妊娠中だけでなく産後の生活にも活かせる内容にしている。					
目的達成の指標	低出生体重児数					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度
	目標	人	0	0	0	0
	実績	人	2	2		
指標設定の考え方	教室や個別の保健指導を行うことで、早産・低出生体重児の予防につながると考えたため。					
事業遂行時懸案事項等	参加者数が少ないため、教室についてのアンケート調査を行い、対象者が困っていることや聞いてみたい内容などの実態把握を行う必要がある。 またハイリスク妊婦については、安心・安全にお産を迎えることができるように支援体制を整えていく必要がある					
事業実施時懸案事項対応等	母子健康手帳発行時や赤ちゃん訪問時にプレママ教室の開催日時や内容についてのアンケート調査を行い、教室の内容を見直していく。また教室に参加した方には、産前・産後に活用できる品物を渡すなどして、参加したいと思う内容に改善していく。 ハイリスク妊婦については、支援プランを作成し、継続的にフォローを行っていく。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,072 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
事務量	① 人工数	0.30	0.89	0.89
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	2,214	6,542	6,404
事業費	直接事業費	6,572	8,036	8,036
	人件費	2,214	2,205	2,205
	合計	8,786	10,241	10,241
財源内訳	国庫支出金	128	425	425
	県支出金	160	212	212
	地方債			
	その他	49	49	49
	一般財源	8,449	9,555	9,555
	合計	8,786	10,241	10,241

事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	8,161	8,161	8,036	8,036	8,161
実績	6,572	8,036			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
妊婦への保健指導件数	件	74	75	75	75
		74	73		
妊婦への保健指導率	%	100	100	100	100
		100	100		
病院より情報提供書がきた妊婦のフォロー継続件数	件(%)	7(100)	10(100)	10(100)	10(100)
		7(100)	13(100)		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,596 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算
事務量	① 人工数	0.30	0.89
	② 人件費単価	7,129	7,350
	③ 補助事業人件費	0	
	人件費(①×②-③)	2,139	6,542
事業費	直接事業費	6,572	8,036
	人件費	2,139	6,542
	合計	8,711	14,578
財源内訳	国庫支出金	128	425
	県支出金	160	212
	地方債	0	
	その他	442	49
	一般財源	7,980	13,892
	合計	8,711	14,578

実施備忘録

--

自己評価	評価者	上安 由里恵
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

母子健康手帳発行時のアンケートや面接をもとにチェックリストを作成し、支援が必要な妊婦に該当した場合は、母子保健担当と地区担当の保健師が支援プランを作成し、支援を行っている。これまで支援が必要な妊婦の基準を設けていなかったが、チェックリストを作成したことにより、ハイリスクの基準が統一され、支援が必要な妊婦全員に支援がいきわたるようにすることができた。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

母子健康手帳発行時や赤ちゃん訪問時にアンケート調査を行った結果、かかりつけの産婦人科で母親学級に参加している方が多かった。費用対効果を考慮すると教室を実施するのではなく、個別に相談する場を設ける方がよいと判断したため、教室を廃止し、個別に相談できるように対応した。また今後も母子健康手帳発行時の面接や病院からの情報を元に支援が必要と判断した母子に対しては継続して支援を行い、安心・安全にお産を迎えることができるようにしていく。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

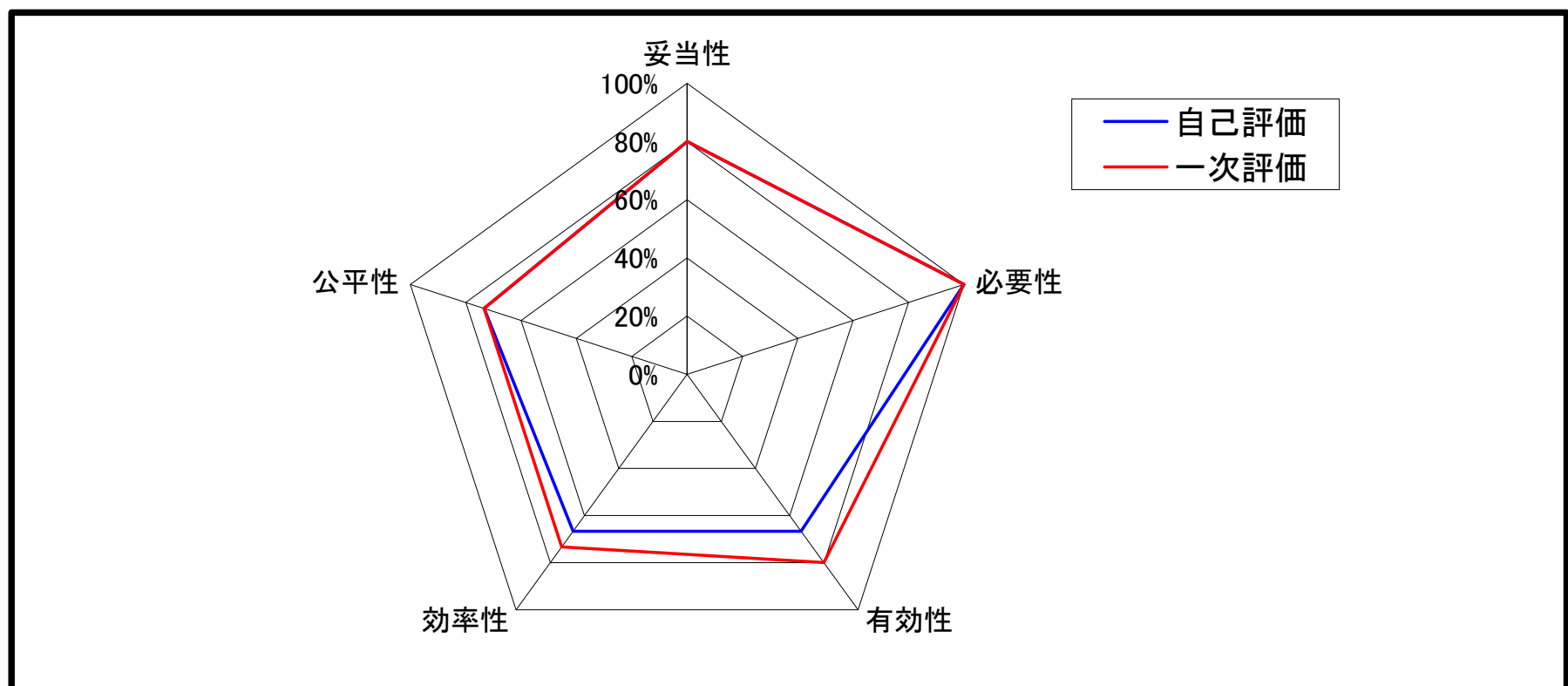
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

平成30年度から支援が必要な妊産婦の継続的なフォローを行うため、支援プランを作成し、定期的なカンファレンスでプランの確認を行っている。
 今後も、必要に応じて関係機関と連携をとり、安心安全な出産と出産後の育児支援に繋がるよう支援していく必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	國寄 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

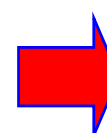
- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

妊婦健康教育・保健指導・相談事業をそのまま継続していく中で、母子手帳の発行日等について検討をして妊婦に負担がかからないようにする。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
 月 日
 までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
 月 日
 開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

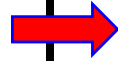
ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

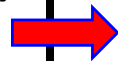
外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--